



DJM-450 ファームウェア - 変更履歴

ver. 1.07 (2024年 7月 18日更新)

[改善]

- ✓ 欧州エコデザイン指令に基づき、パワーマネジメント機能を有効に設定している時、オフモードへ遷移するまでに要する時間を20分に変更しました。

※従来、機種によりオートスタンバイまたはオートパワーオフと呼んでいた省エネ機能の名称がパワーマネジメントに変更されました。

※パワーマネジメント機能については、最新の取扱説明書を参照してください。

ver. 1.06 (2020年 1月 14日更新)

[修正]

- ✓ DJM-REC を使用時に録音および LIVE 配信が停止してしまうことがある問題を修正しました。

ver. 1.04 (2018年 2月 6日更新)

[改善]

- ✓ MIC LEVEL ツマミのボリュームカーブを改善。

ver. 1.03 (2017年 8月 8日更新)

[改善]

- ✓ クロスフェーダー両端の音が出ない範囲を見直し、スクラッチ演奏時の操作性を改善。
- ✓ エフェクトチャンネル切換時、本体表示部に選択したチャンネルが表示されるように変更。

[修正]

- ✓ rekordbox 接続時、rekordbox の BEAT FX が ON のときに rekordbox 上でエフェクトアサインを切り換えると、USB 音声 (FX SEND/RETURN) にノイズが発生する問題を修正。
- ✓ その他、軽微な不具合を修正。

ver. 1.02 (2017年 2月 28日更新)

[新規]

- ✓ マルチチャンネル出力に対応していない PC アプリケーションを使用して楽曲を再生した場合に再生音をミキサーのどのチャンネルに入力するかを選択できる機能を追加。

PC 設定ユーティリティアプリケーションの” MIXER INPUT” タブ内にて入力チャンネルの選択が可能。

この機能を使用するためにはドライバソフトウェアも最新にする必要があります。

DRIVER FOR WINDOWS : Ver.1.102 以上

DRIVER FOR MAC YOSEMITE : Ver.1.1.2 以上

DRIVER FOR MAC SIERRA AND EL CAPITAN : Ver.2.1.2 以上

※ rekordbox 等マルチチャンネル出力に対応している PC アプリケーションを使用した場合は、選択機能は無効となり、PC アプリケーション側の設定が有効になります。

[修正]

- ✓ クロスフェーダー両端におけるカットラグ設定値の誤差を修正。
- ✓ EQ CURVE を ISOLATOR に設定しているとき、EQ/ISO ツマミの操作で微小なノイズが発生する不具合を修正。